

行動する知性。



**学生のための
ジェンダー・セクシュアリティに関する
ハンドブック** [第2版]

Gender and Sexuality Handbook

2024年4月1日

はじめに

このハンドブックは、中央大学に在籍するすべての学生のために、ジェンダー・セクシュアリティに関する情報を、できるだけわかりやすくまとめたものです。皆さんの中には、ジェンダーのことを勉強していたり、LGBTQと聞いて「自分のことだ」と自認したりする方もいれば、「自分には関係ない」「よくわからない」と感じる方もいることでしょう。しかし、実はジェンダー・セクシュアリティはすべての人に関係するテーマなのです。

私たちの日常生活の中には、書類の性別欄をはじめとして、意識されないけれどもジェンダーやセクシュアリティが関わっている場面がたくさんあります。また、人はそれぞれ異なるセクシュアリティをもっています。多様な私たちがともに生活するためには、自分や相手を理解しようとする姿勢と、理解の手がかりとなる知識が必要になります。そんなとき、その一助としてこのハンドブックをご活用ください。

ところで、このハンドブックを制作した「中央大学ダイバーシティセンター」のことはご存じでしたか？

中央大学は、2017年10月に「中央大学ダイバーシティ宣言」(p21参照)を発表し、すべての構成員に平等な学修環境と職場環境を提供すると宣言しました。その取り組みの一環として、2020年4月に設立されたのが「中央大学ダイバーシティセンター」(p18参照)です。このハンドブックだけでなく、ダイバーシティセンターと、併設のダイバーシティスクエアもぜひご利用ください。

※ダイバーシティセンターの最新情報は、ウェブサイトまたはSNSからご確認くださいませ。

※このハンドブックに掲載している情報は2024年3月現在のものです。



ウェブサイト

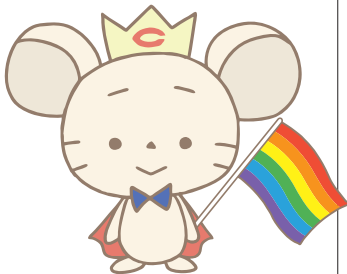


X (旧Twitter)



Instagram

目次 contents



はじめに	2
目次	2
01. ジェンダー・セクシュアリティに関する用語	3
02. 学生生活	7
① 氏名、性別、写真の取り扱い	7
② 施設利用	8
③ 授業、実習、留学	12
④ 就職活動	13
03. Q&A	14
04. ジェンダー・セクシュアリティに関する相談窓口	17
05. 中央大学ダイバーシティセンター	18
06. 中央大学ダイバーシティ宣言	21
参考文献	22

01 ジェンダー・セクシュアリティに関する用語

ここでは、ジェンダー・セクシュアリティに関する基本的な用語をご紹介します。
このハンドブックの中にも繰り返し登場する言葉です。
この機会に意味を確認しておきましょう。

ジェンダー

社会的につくり出された性差のこと。ジェンダーステレオタイプ(いわゆる男らしさ・女らしさ、男性はこうあるべき・女性はこうあるべきという社会通念)、ジェンダーバイアス(性別に関する偏見・差別)、ジェンダーロール(男性は外で仕事をする・女性は家庭で家事育児をするといった固定的な性別役割規範)などの用語もあります。

セクシュアリティ

人間の「性のあり方」のこと。近年では、少なくとも以下4つの要素の組み合わせによって「性のあり方」が形づくられているとされています。

- 性的指向 (Sexual Orientation): 恋愛や性愛の対象となる性
恋愛の対象をRomantic Orientation、性愛の対象をSexual Orientationと分けることもある
- 性自認 (Gender Identity): 自分の性別をどのように認識するか。性同一性ともいう
- 性表現 (Gender Expression): 自分の性をどのような服装・髪型・言葉づかい・行動などで表現するか
- 出生時に割り当てられた性 (Sex Assigned at Birth): 出生時の身体的特徴に基づき判断された性

それぞれの要素も、その組み合わせも多様であるため、セクシュアリティは人それぞれ異なります。その異なりを「グラデーション」と表現することもあります。

SOGI (ソジ)

前項の性的指向 (Sexual Orientation) と性自認 (Gender Identity) の頭文字をとった言葉です。性的マイノリティだけでなく、性的マジョリティも含めて、あらゆるセクシュアリティを人権の課題として捉える言葉として国際的に使用されています。性表現 (Gender Expression) と合わせてSOGIE (ソジイー)、身体的特徴 (Sex Characteristics) と合わせてSOGIESC (ソジエスク) ということもあります。

LGBTQ

LGBTQとはレズビアン(Lesbian: 女性同性愛者)、ゲイ(Gay: 男性同性愛者)、バイセクシュアル(Bisexual: 両性愛者)、トランスジェンダー(Transgender: 性自認が出生時に割り当てられた性と異なる人など)、クィア(Queer: 異なるセクシュアリティの連帯と異性愛規範や同性愛嫌悪の問題を示すために使われる概念)またはクエスチョニング(Questioning: 自分のセクシュアリティを模索中やあえて決定づけていない人)の頭文字をとった言葉で、性的マイノリティの総称の1つとして使用されています。

他にも、性的指向の観点ではパンセクシュアル(Pansexual: 全性愛者)、アセクシュアル(Asexual: 無性愛者)、性自認の観点ではXジェンダーやノンバイナリー(X-gender, Non-binary: 性自認が男女どちらかではない人)などもあり、そうした広がり表現するために「LGBTs」「LGBT+」などとすることもあります。

※ホモ、レズ、おかまなどの表現は差別的に使われてきた歴史があるため、ゲイ、レズビアン、同性愛者などニュートラルな表現を使うことが一般に推奨されています。

Column 1 「普通の人」って誰のこと？

今の社会では、出生時に割り当てられた性と性自認が一致していて、性的指向が異性である人がマジョリティとされています。出生時に割り当てられた性と性自認が一致している人を「シスジェンダー」、性的指向が異性である人を「ヘテロセクシュアル(異性愛者)」といいます。つまり、性的マジョリティとは、「シスジェンダー」かつ「ヘテロセクシュアル」の人々となります。

ところで、性的マジョリティを指して「普通の人」と表現することはありませんか？ しかし、ある属性の人を「普通」とすることは、そうではない人を「普通ではない」とみなしてしまうことにつながります。「正常」や「一般」という表現も同様に、使い方に注意が必要です。

あなたが女性でも男性でも、どちらでもなくても、誰かや何かを好きになるとしても、ならないとしても、それぞれが尊重されるべき性のあり方です。その中で、シスジェンダーであり、ヘテロセクシュアルである人もまた、多様なセクシュアリティの中の1つだということに自覚的でありたいですね。

カミングアウト

自分のセクシュアリティを自分の意思で他の人に伝えること。カミングアウトをするかしないか、いつ、誰に、どの範囲までするかは、本人の自由であるべきです。

アウトティング

他の人のセクシュアリティを本人の了承を得ない状態で第三者に暴露すること。重大な人権侵害なので決してしてはならないことです。もし、カミングアウトを受けたことを誰かに相談したい場合は、共通の知り合いなどではなく、ダイバーシティセンターなどを利用するようにしましょう。

SOGIハラスメント

SOGIに関するハラスメントのこと。次のようなことがあてはまります。

- ① 差別的な言動や嘲笑、差別的な呼称
- ② いじめ、無視、暴力
- ③ 望まない性別での生活の強要
- ④ 不当な異動や解雇、不当な入学拒否や転校強制
- ⑤ アウティング

アライ (Ally)



LGBTQの理解者・支援者・味方として行動する人のことで、英語のAlly (味方・協力者) からきた言葉です。アライは、LGBTQの当事者ではない人が、LGBTQに関する活動に携わる場合やLGBTQの理解者・味方であることを表明する際に使われてきました。ただ最近では、「誰もが誰かのアライになれる」というように、LGBTQの当事者であるか否かを問わず、お互いのジェンダーやセクシュアリティを尊重し合う味方であるという意味でも使われるようになってきました。LGBTQ当事者の置かれている環境を改善するためには、すべての人がアライになることがとても重要です。

レインボー

赤、橙、黄、緑、青、紫の6色からなる虹は、LGBTQのシンボルカラーです。身につけたり掲示したりすることで、その人やその場がLGBTQフレンドリーであることを可視化する役割もあります。

Column 2 カミングアウトはゴールではなくプロセス

自分のセクシュアリティについて他の人に伝える「カミングアウト」は、ゴールではなくプロセスであり、そこから始まるコミュニケーションこそが重要です。

しばしば、カミングアウトをする側にとって、カミングアウトはそれまで時間をかけて自分のセクシュアリティと向き合ってきた流れの中で起こります。一方で、カミングアウトを受ける側は、驚きが先に立ち、その場では十分に受け止められないことも珍しくありません。この気持ちのすれ違いから、カミングアウト後の人間関係に摩擦が生まれてしまうこともあります。

そんなとき、カミングアウトが人間関係を築いていく上で大事なプロセスであると知っていれば、お互いを理解する助けになるかもしれません。

そして、カミングアウトは一度きりのこともあれば、何度かすることもあります。人間関係は時間を置くことで関わり方に変化が生じていくことがあるように、カミングアウトをする側と受けた側の間もいろいろな関係性があることでしょう。

繊細な情報を共有することになるカミングアウトは、豊かな人間関係につながることもありますが、アウティングを生じてしまう危険もあります。どんな立場でも、カミングアウトに関する相談があるときは、ダイバーシティセンターをお気軽にご利用ください。



02 学生生活

ジェンダー・セクシュアリティに関する制度・設備等について、
中央大学における現在の状況をまとめました。
これらの制度・設備等の利用について気になる点があれば、
お気軽にダイバーシティセンターへご相談ください。

① 氏名、性別、写真の取り扱い

1. 氏名の取り扱い

戸籍上の氏名に変更があった場合

「本人・保証人・学費負担者情報等変更(訂正)届」を提出していただく必要があります。
学部や大学院の事務室へご相談ください。

通称名の使用を希望する場合

中央大学において、通称名を使用することができるのは、次のような場合です。

- A 婚姻等により戸籍上の氏名を変更した場合に、変更前の氏名を使用したいとき
- B 日本の国籍を有さない学生が住民票記載事項証明書記載の通称名を使用したいとき
- C 前述以外の場合で、合理的な理由があると所属学部等の長が認めるとき

性別に違和感のある学生等が通称名を希望する事情は、Cに該当する場合があります。
ダイバーシティセンターもしくは学部や大学院の事務室へご相談ください。

通称名を使用できる文書

次の文書には、一定の条件のもと通称名の使用申請ができます。

- 学生データ ● 学位記
- 学生証 ● 各種帳票類(成績原簿、履修チェックリスト、受講生名簿等)

通称名を使用できない文書

次の文書には、通称名の使用ができません。

- 学生原簿
- 教育職員免許状申請書類
- 国家試験等、国等の機関が所管する制度等により、戸籍上の氏名を使用することとされているもの
- その他、通称名を使用することが困難であると学部長等が判断するもの

2. 性別の取り扱い

戸籍上の性別に変更があった場合

「本人・保証人・学費負担者情報等変更(訂正)届」を提出していただく必要があります。学部や大学院の事務室へご相談ください。

自認する性別の使用を希望する場合

学籍上の性別は、戸籍上の性別と異なる性別に変更することができません。それ以外の配慮についてはダイバーシティセンターもしくは学部や大学院の事務室へご相談ください。

性別記載のある文書

健康診断書、通学証明書には、原則として性別記載があります。

性別記載のない文書

その他、成績証明書、在学証明書、在籍証明書、卒業・修了見込証明書、卒業証明書などには、性別記載はありません。

3. 写真の取り扱い

学生証の写真は、原則として、願書の写真を卒業まで使用することになっています。しかしながら、性別移行などに伴い学生証の写真の変更を希望する場合には、差し替えが可能となることがあります。ダイバーシティセンターもしくは学部や大学院の事務室へご相談ください。

② 施設利用



バリアフリーマップ

1. トイレ

多摩キャンパス

原則として各棟に1つ多機能トイレがあります。また、8号館、Cスクエア、FOREST GATEWAY CHUOには各階に多機能トイレがあります(FOREST GATEWAY CHUO 4階には多機能トイレに替わり授乳室が設置されています)。詳細はバリアフリーマップをご覧ください。

後樂園キャンパス

2号館に1つ、3号館に5つ、6号館に1つ、多機能トイレがあります。詳細はバリアフリーマップをご覧ください。

市ヶ谷田町キャンパス

多機能トイレが2つあります。詳細はバリアフリーマップをご覧ください。

茗荷谷キャンパス

7階・8階を除いた各階に多機能トイレがあります。詳細はバリアフリーマップをご覧ください。

Column 3 誰もが安心して過ごすことができるキャンパスとは？

キャンパスが誰にとっても安心して利用できる場所であるために、これまで様々な取り組みがされてきました。たとえば、トイレが不自由なく利用できることも安心につながります。多機能トイレの整備はその取り組みの1つであり、多摩キャンパスにあるFOREST GATEWAY CHUOではほとんどの階に設置されているなど、整備は着実に進んできています。また、子育てをしながら学ぶ人のための授乳室の設置も、同様の取り組みの1つです。

近年ではトイレに生理用品を設置する取り組みも注目されています。経済的な負担はもとより、様々な事情で生理用品を十分に手に入れられない人がいます。さらに、キャンパスでは急に生理用品が必要になった際、手に入る場所(売店など)が限られるため、安心して授業に参加できないなどの問題も生じます。トイレに必ずトイレットペーパーが用意されているように、生理用品が施設に必要な備品として設置されるよう、生理に関する啓発とともに取り組んでいく必要があります。



2. 更衣室 //////////////////////////////////////

多摩キャンパス

第一体育館、第二体育館、Cスクエアに男女別の更衣室があります。現在のところ、性別によらない更衣室や個室更衣室はありません。(多機能トイレを利用することが可能です。)

後樂園キャンパス

3号館、5号館に男女別の更衣室があります。3号館の更衣室はシャワールームとつながっており、個室になっています。現在のところ、性別によらない更衣室はありません。(多機能トイレを利用することが可能です。)

茗荷谷キャンパス

地下2階に男女別の更衣室と性別によらない更衣室があります。性別によらない更衣室はシャワールームとつながっており、個室になっています。(多機能トイレを利用することも可能です。)

3. シャワー室

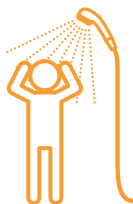
多摩キャンパス

第一体育館、第二体育館、Cスクエアに男女別のシャワールームがあります。

後樂園キャンパス

3号館、5号館に男女別のシャワールームがあります。

3号館のシャワールームは更衣室とつながっており、個室になっています。



茗荷谷キャンパス

地下2階に男女別のシャワールームと性別によらないシャワールームがあります。

性別によらないシャワールームは更衣室とつながっており、個室になっています。

4. 授乳室

多摩キャンパス

FOREST GATEWAY CHUO 4階
に授乳室が設置されています。

茗荷谷キャンパス

3階に授乳室が設置
されています。



5. 定期健康診断

健康診断は男女別に受診します。受診票はマークシート形式で、性別欄は「男」「女」の選択式です。心電図検査(新入生のみ)は、仕切りのあるブースで胸元を開いて行います。胸部レントゲン撮影(受診者全員)は、他の受診者と一緒にの部屋で、上半身のみ着替えがあり、無地のTシャツを着用の上撮影を行います。

健康診断の受診は、就職・教育実習等で求められる「健康診断証明書」の発行に必要です。体育実技等の科目においても受診が条件となる場合があります。心配があれば保健センターやダイバーシティセンターにご相談ください。(指定する別日程での受診が可能です。)

6. 寮

聖蹟国際交流寮

聖蹟桜ヶ丘にある、マンションタイプの寮です。性別による区分はありません。

国際教育寮

多摩キャンパス内にある、ルームシェアタイプの寮です。1階と5階の共用エリアを除き、各階に男子エリアと女子エリアがあります。それぞれのエリアにつながるエレベーターも、男子用と女子用になっています。

各ユニットには個室のトイレが2か所、個室のシャワーブースが1か所あります。そのほか、男子エリア内には男子用のトイレ・浴室・コインランドリーなどが、女子エリア内には女子用のトイレ・浴室・コインランドリーなどが、それぞれあります。共用エリアには、男女別のトイレと多目的トイレ(1階のみ)があります。

7. セミナーハウス

宿泊者名簿

宿泊者名簿には学籍番号と氏名を記入します。また、宿泊する人数を男女別に記入します。通称名や自認する性別にも対応できる場合があるので、学生生活課または都心学生生活課にご相談ください。

富浦臨海寮

千葉県にあるセミナーハウスです。

- 部屋…大部屋(和室)のみです
- お風呂…男女別の浴室のみです。シャワールームはありません
- トイレ…男女別のトイレのみです
- 洗面所…共用の洗面所が2か所あります

大部屋を個室として利用することは原則としてできません。ただし、状況によっては対応できる場合もあるので、学生生活課または都心学生生活課にご相談ください。

野尻湖セミナーハウス

長野県にあるセミナーハウスです。

- 部屋…大部屋(和室と洋室)のみです。個室は教職員用のため、学生が利用することはできません
- お風呂…男女別の浴室のみです。シャワールームはありません
- トイレ…各階に多目的トイレがあります
- 洗面コーナー…男女別の洗面コーナーのみです
- 洗濯コーナー…男女別の洗濯コーナーのみです

大部屋を個室として利用することは原則としてできません。ただし、状況によっては対応できる場合もあるので、学生生活課または都心学生生活課にご相談ください。



③ 授業、実習、留学

1. 授業

授業内の敬称については、ジェンダー平等の観点から性別に関わりなく「さん」づけをすることを推奨しています。また、性別違和に関連して、中央大学の「性別違和あるいは性同一性障害を抱える学生への対応について（指針）」においても、「基本的には『さん』づけとすることを推奨する」としています。

体育では、学部によって、男女合同の授業、RHクラス（リハビリテーションクラス）、実技のない授業などを選択することができます。詳細はシラバスおよび学部事務室でご確認ください。

2. 実習

教育実習および介護等体験については、教職事務室が事前の個別相談に対応しています。学芸員課程、社会教育主事課程、司書課程における実習については、文学部事務室が事前の個別相談に対応しています。なお、司書課程の実習は必修ではありません。

3. 留学

中央大学から海外への留学

学内の留学に関する手続書類には性別欄がありません。留学先での氏名および性別の取り扱いについては、留学ビザ取得のため公的書類（パスポート）がベースとなりますが、国際センターが事前の個別相談に対応しています。特に交換留学は、留学先の大学が協定校となるため、緊密な連携がとりやすいです。

海外から中央大学への留学

中央大学での氏名および性別の取り扱いについては、留学ビザ取得のため公的書類（パスポート）がベースとなりますが、通称名を使用できる場合があります。また、協定校からの交換留学生については、本人の希望により個室タイプの寮（聖蹟国際交流寮）を選択することができます。

なお、多摩キャンパスのグローバル館（GLOBAL GATEWAY CHUO）4階、後樂園キャンパスの6号館7階にあるダイバーシティラウンジ、茗荷谷キャンパスの3階には、礼拝室が設置されています。



④ 就職活動

1. 履歴書

中央大学指定の「履歴書・自己紹介書」には性別欄がありません。

2. キャリアセンター

キャリアセンターを利用する上で氏名や性別の取り扱いについて相談したいことがあれば、個別に対応が可能です。

Column 4 ジェンダーによるしがらみ

「男なんだから(なのに・のくせに)」「女なんだから(なのに・のくせに)」といわれたこと・いったことはありますか? 「男らしさ」「女らしさ」って何でしょうか?

「男らしさ」や「女らしさ」は、すべて否定されるべきものというわけではありません。男らしく・女らしく装う、振る舞うことを楽しむ生き方もあります。でももし、「女なんだから」都会の大学なんていかななくていい、留学なんてしなくていい、「男なんだから」強くあらねばならない、などという価値観に縛られたら、自由が奪われてしまいます。そうした社会的な圧力に苦しんでいる人がいるのも事実です。

誰もがのびのび生きられる社会をつくるには、私たちがジェンダーによるしがらみをいったん外してやる必要があるかもしれません。そうしたしがらみで何かを諦めようとしていないか、また自分が誰かに何かを押しつけていないか、今一度振り返ってみてはどうでしょうか?



03 Q&A

Q

「LGBTQ」「マイノリティ」など、なぜわざわざ区別するのですか？

A

マイノリティは社会の中で周縁に置かれがちです。そのため、困難に直面している人がそのことに気づいてもらえなかったり、適切な支援を受けられなかったりします。そこで、存在の可視化と連帯のためにLGBTQなどの言葉が使われるようになりました。

Q

自分と近いセクシュアリティの人の話を聞いてみたいけれど、どこに行けばいいのかわかりません。

A

学内外に様々な団体があり、相談を受け付けたり、居場所を提供したりしています。ダイバーシティセンターでも情報提供をしますので、ご利用ください。また、まずはセンターで話をしてみたいという方も、専門性をもったコーディネーターが対応します。

Q

カミングアウトを受けたときはどのように対応すればよいですか？

A

セクシュアリティはアイデンティティの一部です。だからこそ、カミングアウトには「受け入れてもらえなかったらどうしよう」といった不安を伴うことも少なくありません。まずは「大切なことを話してくれてありがとう」など、受け止める姿勢をとれると、その後も安心して話ができるでしょう。その上で、なぜ自分にカミングアウトしてくれたのか、他に誰がどこまで把握しているのか、自分にできることはあるかなどを尋ねてみてもいいですね(Column2<p6>参照)。

ただし、カミングアウトを受ける側として、驚き戸惑ってしまうこともあり得ます。第三者に相談したくなることもあるでしょう。しかし、相手の了承を得ずにその人のセクシュアリティを他の人に伝えることは、アウティング(p5参照)にあたります。共通の友達に勝手に話すといった行動は慎んでください。どうしてもいいかわからない場合は、ダイバーシティセンターでプライバシーを守りながら相談することもできますので、ご利用ください。

Q

同性から告白されましたが受け入れられません。これって差別ですか？

A

「同性と付き合いえない」と感じることで自分が差別になるわけではありません。大切なのは言動です。「気持ち悪い」「あり得ない」などと人格否定・存在否定をしたり、「ふざけていつてるんでしょう？」などと茶化したりせず、真剣に受け止めましょう。また、「○○に告白されたんだけど」といいふらすことはアウティング(p5参照)にあたるので絶対にはいけません。「自分は異性が恋愛対象だからあなたと付き合いことはできない」など誠実に対応すれば、無闇に傷つけることにはならないはずです。その上で、「これからも友達でいたい」「戸惑っているので時間がほしい」など、自分の希望や正直な感情を伝えるのもいいのではないのでしょうか。

Q

ある友達が性的マイノリティであるという噂を耳にしました。

これまで通りに接することができるか不安です。

A

まず、その人のセクシュアリティによって、これまでの人間関係が嘘であるとか、別人になってしまうわけではないと理解することが大切です。もともとの友達関係にセクシュアリティは関係あったでしょうか？ それほど関係ないのではないのでしょうか？

次に、噂であるということにも留意しましょう。人のセクシュアリティを周囲が勝手に判断することはできませんし、してはいけません。また、その噂自体がアウトティング(p5参照)になっているおそれもあるので、可能であれば噂している人に噂をやめるよう忠告してください。本人に対しても、セクシュアリティを無理に聞き出したり詮索したりしないようにしましょう。

Q

自分のセクシュアリティがよくわからないのですが、

そのような状態でも相談したり、配慮を希望したりしてもいいのでしょうか？

A

もちろん大丈夫です。ダイバーシティセンターでは、「このセクシュアリティだからこの対応をする」ということはなく、一人ひとりに寄り添います。配慮を希望する際に不安なことがあれば、それも伺いますので、お気軽にいらしてください。

Column 5 一橋大学アウトティング事件

2015年の出来事です。中央大学法学部を卒業し、一橋大学法科大学院に在籍する男子学生Aが、別の男子学生Bに、LINEで告白をともなうカミングアウトをしました。最初は「付き合い合うことはできないけれど、これからもよき友達でいてほしい」と返信したBでしたが、徐々に関係が難しくなり、数か月後、Aと複数の共通の友人が見られるLINEに「おれもうおまえがゲイであることを隠しておくのはムリだ。ごめん」とアウトティング(p5参照)してしまいます。それ以降、Aは心身に不調をきたすようになり、学内諸機関に相談するものの問題の解決に至らないまま、翌月、校舎から転落して亡くなりました。

アウトティングは、カミングアウトした人の安心・安全な居場所を奪い、ときに命をも脅かす行為なのです。

万が一アウトティングの被害に遭った場合には、ダイバーシティセンターやハラスメント防止啓発支援室に相談してください。また、カミングアウトを受けて困惑している、どう対応したらいいかわからないという場合にも、ダイバーシティセンターでは守秘を約束して相談をお受けします。

なお、この事件をきっかけに、一橋大学が所在する国立市で2018年にアウトティングの禁止を盛り込んだ全国初の条例が制定されるなど、アウトティングの重大性について社会の認識は大きく変わってきています。さらに詳しく知りたい方は参考文献(p23)をご覧ください。



**ジェンダー・セクシュアリティについて勉強したいのですが、
どうすればいいでしょうか？**



ジェンダー・セクシュアリティについて学ぶ方法はたくさんあります。いろいろと試してみることをおすすめします。ダイバーシティセンターではそのお手伝いをしておりますので、ぜひご利用ください。

1

多摩キャンパスのダイバーシスクエア、茗荷谷キャンパスの学生相談室・ダイバーシティセンターで図書を開覧する、借りる

開室中は自由に図書を開覧することができます。中央大学に在籍する学生は図書を借りることもできますのでぜひご利用ください。
(pp.18-20参照)



蔵書リスト

2

ダイバーシティセンターが開催するイベントに参加する

各種イベントを開催しております。ウェブサイトまたはSNS (p2参照) よりご確認ください。

3

ジェンダー・セクシュアリティに関する授業を受講する

所属する学部等により受講できる授業が異なります。シラバスで用語検索をしてみるとよいでしょう。例えば、「ジェンダー」、「セクシュアリティ」、「性的マイノリティ(セクシュアルマイノリティ)」、「LGBT」などの用語を検索してみてください。探し方がわからない、見つからない場合はダイバーシティセンターにご相談ください。

4

ダイバーシティセンターのコーディネーターに話を聞く、相談する

ダイバーシティセンターには専門性をもったコーディネーターが所属しています。ぜひお気軽にご連絡ください。または直接ダイバーシティセンターにお越しください(勤務の関係で不在のときもあります)。「知りたいことがある」、「困っていることがある」、「なんとなく話を聞いてみたい」など、どんな理由でも大丈夫です。また、ご友人や教職員など他の方と一緒に話したいという場合は、ぜひ一緒にお越しください。

以上、4つの例を挙げましたが、その他にも学外で学ぶ方法もありますので、ぜひダイバーシティセンターにご相談ください。

04 ジェンダー・セクシュアリティに関する相談窓口

ダイバーシティセンターでは、ジェンダー・セクシュアリティに関して専門性のあるコーディネーターが対応します。安心してご相談ください。

ダイバーシティセンター 042-674-4554



ダイバーシティセンター

ダイバーシティセンターでは、必要に応じて以下の窓口および学部や大学院の事務室とも連携して対応にあたります。

ハラスメント防止啓発支援室 042-674-3507



ハラスメント防止啓発支援室

学生相談室

多摩キャンパス	042-674-3481
後樂園キャンパス	03-3817-1724
市ヶ谷田町キャンパス	03-3513-0309
茗荷谷キャンパス	03-5978-4222



学生相談室
(多摩キャンパス)

保健センター

多摩キャンパス	042-674-2968
後樂園キャンパス	03-3817-1722
市ヶ谷田町キャンパス	03-3513-0319
茗荷谷キャンパス	03-5978-4178



保健センター
(多摩キャンパス)

国際センター 042-674-2211



国際センター

05 中央大学ダイバーシティセンター

2020年4月、ダイバーシティ宣言を受けて、ダイバーシティセンターが設置されました。ダイバーシティセンターでは、学生の皆さんの学修および学生生活を様々な形で支援しています。



1. できること

01 安心・安全な居場所の提供

多摩キャンパスのダイバーシティセンター事務室の隣には、学生のための居場所である「ダイバーシタスクエア」があります。ダイバーシタスクエアでは、休憩したり、おしゃべりをしたり、読書をしたりできます。



02 情報収集・発信、啓発・研修

多摩キャンパスのダイバーシタスクエア、茗荷谷キャンパスの学生相談室・ダイバーシティセンターでは、ダイバーシティに関する書籍などを展示・貸し出ししています。また、講演会などのイベントも開催しています。イベントの予定はウェブサイトまたはSNS (p2参照) をご覧ください。

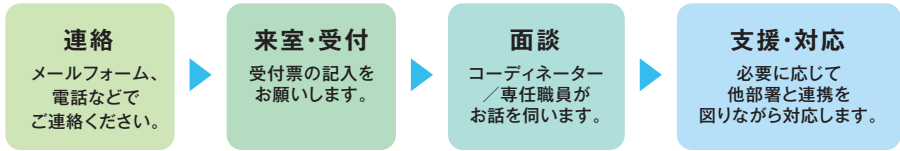


03 相談対応

学生の皆さんからの個別相談を受け付けています。専門性をもったコーディネーターが対応します。面談はお一人でも、友人や教職員と一緒に大丈夫ですので、お気軽にご利用ください。(ご希望のキャンパスで対応が可能です。)



相談の流れ



step.1 連絡

事前にいずれかの方法でご連絡いただくと、スムーズに面談に進むことができます。

- 問い合わせフォーム … <https://www.chuo-u.ac.jp/inquiry/form/?id=134>
- E-mail …………… dc-soudan-grp[アット]g.chuo-u.ac.jp
※[アット]を@に置き換えてください
- TEL …………… 042-674-4554
- FAX …………… 042-674-4555



問い合わせ
フォーム

step.2 来室・受付

予約をしている方

来室したら「相談受付票」の記入をお願いします。

記入する内容(名前、所属、連絡先、相談内容など)は差し支えない範囲で結構です。

予約をしていない方

当日対応できるコーディネーター等がいる場合は面談を受け付けますので、「相談受付票」の記入をお願いします。対応できるコーディネーター等がない場合は日時の予約をしていただきます。

step.3 面談

コーディネーター等がお話を伺います。



step.4 支援・対応

面談で聞き取った内容をもとに、今後の支援・対応の方法を相談しながら決定します。必要に応じて他部署と連携をとることもあります。

2. 支援分野

ジェンダー・セクシュアリティ領域

性別、性自認、性的指向に関することなど専門のコーディネーターがいます。

相談例

「自分のセクシュアリティについて悩みがある」

「カミングアウト(自分のセクシュアリティを誰かに打ち明けること)をしたらアウトティング(本人の同意なくその人のセクシュアリティを第三者に暴露すること)をされてしまった」

その他、ダイバーシティセンターでは次の2つの領域についてもカバーしています。

障害領域

障害・病気に関することなど。専門のコーディネーターがいます。

グローバル領域

国籍・人種・民族・言語・信念・宗教に関することなど。

3. 開室時間

ダイバーシティセンター事務室

多摩キャンパス FOREST GATEWAY CHUO 2階
月～金(授業実施日) / 10:00～17:00(相談受付は16:00まで)

ダイバーシティスクエア

多摩キャンパス FOREST GATEWAY CHUO 2階
月～金(授業実施日) / 10:30～14:30

学生相談室・ダイバーシティセンター

茗荷谷キャンパス 4階
月～金(授業実施日) / 10:00～17:00(相談受付は16:00まで)

06 中央大学ダイバーシティ宣言

2017年10月に公表した「中央大学ダイバーシティ宣言」は、中央大学が、性別・性自認・性的指向をはじめ、様々な背景をもつすべての人びとに、平等な学修環境および職場環境を提供するとしています。したがって、中央大学の学生の皆さんは、性別・性自認・性的指向による不合理な取り扱いを受けず、平等な環境で学生生活を送るために必要な配慮や支援を受ける権利があります。

中央大学ダイバーシティ宣言

1 学びは、良き生き方を探し実現するうえで、たいへん大切なものです。人びとには学びたいという気持ちがあります。学んだことを生かして良き生き方を実現したいと願っています。そうしたなかで、これからの社会は、どんな背景をもつ人に対しても、学びのための平等な機会を提供できなければなりません。大学を始めとする教育機関は、良き生き方を実現するための学びの機会を提供するための最も重要な場です。それゆえそれらの教育機関は、障害、病歴、経済状況、家庭環境、性別、性自認、性的指向、年齢、国籍、人種、言語、信念、宗教などによって、学びの機会が損なわれることがないような環境を整えなければなりません。

2 私たち中央大学は、豊かな感性と人間力を備え、高度な専門性をもって国際社会に貢献できる人材の育成に取り組んでまいりました。いま私たちは、すべての人びとに学びの機会が平等に開かれることの重要性を認識しています。そして、私たちがともに学びたいという希望を持つすべての人びとが差別なく集い、のびのびと学ぶことのできる学修環境を提供します。すべての人びとが相互に認め合い、力を高め合える学修環境を提供します。さらに私たちは、多様な人びとが教育と研究のためにともに働く職場環境づくりをめざします。

3 そのために私たちは、以下の取組を進めていきます。

第一に、障害、病歴、経済状況、家庭環境、性別、性自認、性的指向、年齢、国籍、人種、言語、信念、宗教など、多様な背景をもつ人びとが、ともに学び、ともに働くことのできる環境をつくります。

第二に、ともに学ぶ人びとが個人の能力を最大限に発揮できる職場環境をつくり、またワーク・ライフ・バランスの実現をめざします。

第三に、障害のある本学構成員に対する合理的配慮を推進し、さらに社会的障壁の除去に対する理解の醸成をすすめます。

第四に、あらゆる人びとの人権を尊重し、偏見にもとづく差別や人権侵害が生じることのないようにします。私たちは、人類社会を構成する一員として、社会とともに、以上の取り組みを着実にすすめてまいります。

2017年10月 学校法人 中央大学

参考文献

【他大学のガイドライン等】

- 国際基督教大学ジェンダー研究センター(2016)
「ジェンダー・セクシュアリティとキャンパスライフ Vol.1: できることガイド in ICU初版」
- 国際基督教大学ジェンダー研究センター(2016)
「ジェンダー・セクシュアリティとキャンパスライフ Vol.2: やれることリスト108 at University」
- 国立大学法人筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター(2020)
「LGBT等に関する筑波大学の基本理念と対応ガイドライン」
- 東海国立機構名古屋大学(2021)
「LGBT等に関する名古屋大学の基本理念と対応ガイドライン」
- 東京都立大学ダイバーシティ推進室(2020)
「セクシュアル・マイノリティに関する東京都立大学の対応ガイドライン」
- 早稲田大学GSセンター(2021)
「セクシュアルマイノリティ学生とアライのためのサポートガイドVer.4」

【入門書】

- 石田仁(2019)『はじめて学ぶLGBT: 基礎からトレンドまで』ナツメ社.
- 加藤秀一・石田仁・海老原暁子(2005)『図解雑学ジェンダー』ナツメ社.
- 谷口洋幸編著(2019)『LGBTをめぐる法と社会』日本加除出版.
- 一橋大学社会学部佐藤文香ゼミ生一同著、佐藤文香監修(2019)
『ジェンダーについて大学生が真剣に考えてみた:
あなたがあなたらしくいられるための29問』明石書店.



【アウトティングに関して】

- 神谷悠一・松岡宗嗣(2020)『LGBTとハラスメント』集英社新書.
- 砂川秀樹(2018)『カミングアウト』朝日新書.
- 松岡宗嗣(2021)『あいつゲイだって: アウトティングはなぜ問題なのか?』柏書房.
- LGBTQ+ Bridge Network(2021)
「一橋アウトティング事件を語り継ぐ」

ハンドブックをお読みいただきありがとうございました。
このハンドブックの内容についてお気づきの点や
ご意見、ご感想などがありましたら、
dc-soudan-grp[アット]g.chuo-u.ac.jpまでお寄せください。
※[アット]を@に置き換えてください



※教職向けに「教職員のためのジェンダー・セクシュアリティに関するガイドブック(配慮と対応)」も制作しています。
こちらませひウェブサイトでご参照ください。

※本ハンドブック作成にあたっては、早稲田大学GSセンター「セクシュアルマイノリティ学生とアライのためのサポートガイド Ver.4」(2021)をはじめ、様々な大学の先行事例を参照させていただきました。ここに記して感謝の意を表します。

中央大学ダイバーシティセンター

多摩キャンパス : 〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1
FOREST GATEWAY CHUO 2F

茗荷谷キャンパス : 〒112-8631 東京都文京区大塚1-4-1 4F

TEL: 042-674-4554 FAX: 042-674-4555

Email: dc-soudan-grp[アット]g.chuo-u.ac.jp

※[アット]を@に置き換えてください



ウェブサイト

[https://www.chuo-u.ac.jp/
campuslife/diversity/](https://www.chuo-u.ac.jp/campuslife/diversity/)



X (旧Twitter)

https://twitter.com/chuo_dc



Instagram

[https://www.instagram.com/
chuo_dc/](https://www.instagram.com/chuo_dc/)